

発行者 日本労務学会広報委員会
(委員長：横山和子)
<http://jshrm.scholars.jp>

日本労務学会
【本部事務局】早稲田大学 白木三秀研究室
【連絡先】日本労務学会リエゾンオフィス
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F
株式会社国際ビジネス研究センター内
TEL 03-5273-0473 FAX 03-3203-5964
E-mail: jshrm@ibi-japan.co.jp

日本労務学会会報 VOL. 93

2015. 6. 15

NEWS

Japan Society of Human Resource Management

日本労務学会第 45 回全国大会の開催について

日本労務学会第 45 回全国大会

実行委員長 佐藤 厚（法政大学）



日本労務学会第 45 回全国大会を、統一論題「次世代を担う若者の HRM」のもとに、2015 年 8 月 28 日～30 日に法政大学市ヶ谷キャンパスにおいて開催いたします。かねてより学会本部から、大会開催の要請があったところですが、教室確保等の事情から、正式な開催決定のご連絡時期が遅れましたこと、また開催時期が従来よりもやや遅い 8 月末ということで、なにかとご不便をおかけすることになりましたこと、一言お詫び申し上げます。

日本労務学会第 45 回大会という節目の年に開催校をお引き受けできることを、本学および本学スタッフ一同、大変光栄かつ名誉なことと思っております。また過去の全国大会の主催校をふりかえってみますと、法政大学での開催は初めてのことでして、改めまして長い歴史と伝統のある当学会の全国大会を本学で開催できることに感謝します。

さて、本大会の統一論題は「次世代を担う若者の HRM」です。本学会会報 No.92 において、永野仁大会プログラム委員長がこのテーマの趣旨を説明しているように、「初期」のキャリアの成否がその後の長期的なキャリア形成に大きな影響を及ぼすということだけでなく、現在の若者が「次世代」の企業や社会の担い手であり、その育成の成否が将来の企業や社会に影響を及ぼすという意味でも、若者の HRM のテーマは重要であります。

また、特別講演では、日本経済団体連合会の遠藤和夫様をお招きします。今年から大学生の就職活動スケジュールが変わることになっていますが、就職活動を切り口に若者の採用、定着、育成の在り方について示唆に富む最前線のお話を伺うことができると思います。

他方、自由論題においては、合計 60 件の報告が、2 日間延べ 18 会場において展開されます。当学会は、経営学、経済学、社会学、心理学、労働科学などのディシプリンからなる学際的な学会です。例年より数多い自由論題報告をいただけることにお礼を申しあげるとともに、各会場における活発な討論、交流を期待しております。

なお、8 月 29 日（土曜）には、夕刻から懇親会を予定しています。会場での議論の続きの場、会員相互の交流の場としてご活用いただきたいと思います。

法政大学市ヶ谷キャンパスは、東京の中心部に立地しており、交通の便はよいのですが、現在、工事中ということもあり、十分な「おもてなし」ができるかどうか不安ではありますが、実行委員一同一生懸命役目は果たして参りたいと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

日本労務学会 第45回全国大会プログラム

—— 統一論題・シンポジウム ——
『次世代を担う若者の HRM』

日 時：2015 年 8 月 28 日（金）～8 月 30 日（日）
会 場：法政大学（市ヶ谷キャンパス）

（大会日程概要）

8 月 28 日（金）	
13：30～	日本労務学会賞（学術賞）審査委員会（外濠校舎 3 F S 301） 日本労務学会賞（研究奨励賞）審査委員会（外濠校舎 3 F S 302）
14：00～	国際交流委員会（外濠校舎 3 F S 304）
15：00～	常任理事会（55 年館 2 F キャリア情報ルーム）
17：00～	理事会（55 年館 2 F キャリア情報ルーム）

8 月 29 日（土）	
9：00～	受付（外濠校舎 1 F ロビー）
9：30～ 9：45	開会式（外濠校舎 S 305）
10：00～12：10	自由論題報告
12：10～13：10	昼食休憩 会員控室（外濠校舎 6 F S 601, S 602, S 603） 大会本部（外濠校舎 5 F S 503, S 504） 理事会（55 年館 2 F キャリア情報ルーム） シンポジウム・パネラー控室（外濠校舎 3 F S 304）
13：10～14：00	特別講演（外濠校舎 3 F S 305）
14：10～17：10	統一論題シンポジウム（外濠校舎 3 F S 305）
17：20～18：20	会員総会（外濠校舎 3 F S 305）
～移動～	
19：00～21：00	懇親会（富士見坂校舎 B 1 食堂 Cafeteria）

8 月 30 日（日）	
9：00～	受付（外濠校舎 1 F ロビー）会員控室（外濠校舎 6 F S 601, S 602, S 603） 大会本部（外濠校舎 5 F S 503, S 504）
9：30～12：25	自由論題報告
12：30～	閉会式（外濠校舎 3 F S 305）

8月29日(土)

法政大学市ヶ谷キャンパス

9:00～ 受付開始(外濠校舎1F ロビー)

9:30～ 9:45 開会式(外濠校舎3F S305)

開会挨拶 佐藤 厚(大会実行委員長 法政大学)

10:00～12:10 自由論題報告(外濠校舎2F、4F、5F): 報告25分、コメント5分、質疑10分

A会場(外濠校舎2F S201)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	山本 寛 (青山学院大学)	柳 圭子 (法政大学大学院)	キャリア・プラトー現象における従業員のキャリア意識に影響する要因 -A社の事例研究-	山本 寛 (青山学院大学)
10:45 ～11:25		佐藤一磨 (明海大学)	どのような能力開発が役職への昇進を促すのか	中村 恵 (神戸学院大学)
11:30 ～12:10		高橋知之 (法政大学大学院)	企業内キャリアの実態と管理職の職務遂行能力 -勤務地限定の有無による事例-	中村 恵 (神戸学院大学)

B会場(外濠校舎2F S202)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	竹内倫和 (学習院大学)	中山敬介 (近畿大学大学院) 松山一紀 (近畿大学)	日本企業組織におけるサーバント・リーダーシップ	竹内倫和 (学習院大学)
10:45 ～11:25		西尾克幸 (NTTタウンページ(株))	伝統的組織における主体性発揮プロセスの研究 -リーダーシップが主体性に与える影響について-	義村敦子 (成蹊大学)
11:30 ～12:10		遠藤哲哉 (青森公立大学)	大災害時の地域経営におけるリーダーシップ -福島の実例研究から-	義村敦子 (成蹊大学)

C会場(外濠校舎2F S203)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	澤野雅彦 (北海学園大学)	林 邦彦 (法政大学大学院)	仕事と介護の両立 -働く介護者の介護マネジメント分析-	西久保浩二 (山梨大学)
10:45 ～11:25		松原光代 (学習院大学)	介護に従事する管理職の仕事と介護の両立状況とモチベーション、仕事効率性への影響	西久保浩二 (山梨大学)
11:30 ～12:10		佐藤博樹 (中央大学) 松浦民恵 (ニッセイ基礎研究所) 池田心豪 (独)労働政策研究・研修機構)	情報提供は介護離職など就業継続に関する従業員の不安軽減に貢献するか -「介入」実験による検証-	澤野雅彦 (北海学園大学)

D 会場（外濠校舎 2 F S 204）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	戎野淑子 (立正大学)	藤波美帆 (千葉経済大学)	継続雇用者（嘱託社員）の戦力化と人事管理の整備状況 –パートタイマーとの人事管理とのバランスを中心に–	高木朋代 (敬愛大学)
10:45 ～11:25		鹿生治行 (（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構)	団塊世代の人材活用と人事部門の支援課題 –「役割」を創るという視点から–	高木朋代 (敬愛大学)
11:30 ～12:10		大木栄一 (玉川大学) 鹿生治行 (（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構)	高齢者の有効活用と高齢者への相談・支援システムの制度化（1996年～2014年の取り組み） –製造業 A 社の事例研究–	戎野淑子 (立正大学)

E 会場（外濠校舎 4 F S 401）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	晴山俊夫 (石巻専修大学)	石山恒貴 (法政大学)	派遣先企業と派遣元人材派遣企業に評価される派遣労働者の特徴 –職業能力を発揮する意識、行動、キャリア志向–	高橋康二 (（独）労働政策研究・研修機構)
10:45 ～11:25		西岡由美 (立正大学)	多様な非正社員の人事管理スタイル –職場の分業構造に注目して–	佐野嘉秀 (法政大学)
11:30 ～12:10		森下一乗 (森下コンサルタンツ)	非正規雇用を減らし、格差社会を是正する方策 –非正規雇用条件の厳格化と、正規雇用を増加させる具体策を提案する–	晴山俊夫 (石巻専修大学)

F 会場（外濠校舎 4 F S 402）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:45 ～11:25	関 千里 (愛知学院大学)	野澤久美子 (北海学園大学大学院)	日本における 3 DCG クリエイターのしごとと能力	関 千里 (愛知学院大学)
11:30 ～12:10		森田雅也 (関西大学)	裁量労働制のこれまでと自律的な働き方	高橋康二 (（独）労働政策研究・研修機構)

G 会場（外濠校舎 4 F S 403）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	笠原清志 (跡見学園女子大学)	祁 岩 (早稲田大学大学院)	中国中小企業の人的資源管理に関する文献レビュー –HRM 施策と企業業績との関係を中心に–	江夏幾太郎 (名古屋大学)
10:45 ～11:25		高洪 波 (国士舘大学大学院)	中国・東北地域におけるオフショア開発の人材育成 –大連市を窓口として–	笠原清志 (跡見学園女子大学)
11:30 ～12:10		Irene Zamora (早稲田大学大学院)	The current challenges of Japanese companies in the Latin American labour market: The case of human resource management practices in Mexico	江夏幾太郎 (名古屋大学)

H 会場（外濠校舎 4 F S 404）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	平野光俊 (神戸大学)	池田梨恵子 (同志社大学大学院)	看護師の資格を使用しない就職要因の検討 －国立 X 大学看護学科卒業者へのインタビューを通じて－	谷内篤博 (実践女子大学)
10:45 ～11:25		赤木邦江 (神戸大学大学院)	若年者雇用対策の政策効果 －若年未就業者 の就職支援事業を取り上げて－	谷内篤博 (実践女子大学)
11:30 ～12:10		林 雅子 (法政大学大学院)	前向きキャリア行動と知識・スキルの不適合 感の調整要因 －ある事業会社グループにお ける調査および分析－	平野光俊 (神戸大学)

I 会場（外濠校舎 5 F S 501）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	中村圭介 (法政大学)	岡本 弥 (神戸学院大学) 松浦 司 (中央大学)	企業がバナンスが長期雇用慣行に与える影響	山下 充 (明治大学)
10:45 ～11:25		本田一成 (國學院大學)	日本のチェーンストア労働組合の結成と初期 活動 －いわゆる「ゼンセン以前」を中心に－	中村圭介 (法政大学)
11:30 ～12:10		森田慎二郎 (東北文化学園大学)	経営家族主義学説の再検討 －間宏著『日本 労務管理史研究』を中心として－	山下 充 (明治大学)

★ 会員控室、昼食会場は、外濠校舎 S 601、S 602、S 603 です。

★ 大会本部は、外濠校舎 S 503、S 504 です。

13:10～14:00 特別講演（外濠校舎 3 F S 305）

講演者：遠藤和夫（日本経済団体連合会労働政策本部統括主幹）

演 題：「若者雇用における多様化と安定性」

司 会：佐藤 厚（法政大学）

14:10～17:10 統一論題・シンポジウム（外濠校舎 3 F S 305）

統一論題：次世代を担う若者の **HRM**

シンポジウム：若者の採用・定着・育成をめぐる

挨 拶：永野 仁（プログラム委員長 明治大学）

パネリスト：太田總一（慶應義塾大学）

「企業による若年者の採用 －労働経済学の視点から－」

坂爪洋美（法政大学）

「若年層の働きがい・働きやすさを規定する要因とその仕組み」

尾形真実哉（甲南大学）

「若年就業者の組織への適応課題と適応促進要因 －複数のデータを用いた分析結果から－」

岩脇千裕（（独）労働政策研究・研修機構）

「若年者雇用対策における中小企業の位置づけ

－新卒一括採用システムの見直しと既卒者支援を中心に－」

大久保幸夫（リクルートワークス研究所）

「なぜ新卒採用・就職のミスマッチが起こるのか？

－採用企業の募集・選考活動と学生の就職活動に隠れた要因を探る－」

司 会：石川 淳（立教大学）

17:20～18:20 会員総会（外濠校舎 3F S 305）

19:00～21:00 懇親会（富士見坂地下一階の食堂：Cafeteria）

8月30日（日）

法政大学市ヶ谷キャンパス

9:00～ 受付開始（外濠校舎 1F ロビー）

9:30～12:25 自由論題報告（外濠校舎 2F、4F、5F）：報告 25 分、コメント 5 分、質疑 10 分

A 会場（外濠校舎 2F S 201）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	八幡成美 (法政大学)	内藤陽子 (東海大学)	キャリア志向と帰任者の人材活用	杉浦正和 (早稲田大学)
10:15 ～10:55		朱 藝 (筑波大学)	海外日系企業における「日本型」人材育成の課題 - 現地若手店舗従業員の「声」を中心に -	杉浦正和 (早稲田大学)
11:05 ～11:45		内田恭彦 (山口大学)	役員のキャリア・学習方法・学習内容 - 比較・類推学習への注目 -	八幡成美 (法政大学)
11:50 ～12:30		石田英夫 (慶応義塾大学)	グローバルマネジャーと起業家精神 - 競争力低下を考える -	八幡成美 (法政大学)

B 会場（外濠校舎 2F S 202）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	梅崎 修 (法政大学)	島川 崇 (東洋大学)	大学生に対するネガティブインパクト研修の効果についての研究 - 航空会社志望学生に対する御巣鷹の尾根での研修を通して -	梅崎 修 (法政大学)
10:15 ～10:55		高村 静 (東京大学大学院)	仕事と職場の経験が男女若手社員の昇進意欲に与える影響	三輪卓巳 (京都産業大学)
11:05 ～11:45		浦坂純子 (同志社大学)	幅の広い異動」が従業員に及ぼす影響 - 職種や仕事内容の変化に注目して -	三輪卓巳 (京都産業大学)

C 会場（外濠校舎 2 F S 203）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	松繁寿和 (大阪大学)	石塚史樹 (東北大学大学院)	人事部門の長の雇用：ドイツ化学企業の事例	山内麻里 (同志社大学)
10:15 ～10:55		万 涛 (中国西安工業大学)	中国経済転換における海外進出企業の HRM 影響要因に関する研究	山内麻里 (同志社大学)
11:05 ～11:45		西村孝史 (首都大学東京)	人事機能の分権化がもたらす反作用 – 人的 資本の柔軟性による媒介効果の検討 –	松繁寿和 (大阪大学)
11:50 ～12:30		須田敏子 (青山学院大学)	人事戦略の産業間比較 – 国際経営比較論・ 制度組織論からの分析 –	松繁寿和 (大阪大学)

D 会場（外濠校舎 2 F S 204）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	佐藤博樹 (中央大学)	細見正樹 (大阪大学大学院)	家庭生活に支援的な上司が部下のジョブ・ク ラフティング、パフォーマンス、援助行動、 エンゲイジメントにもたらす影響	佐藤博樹 (中央大学)
10:15 ～10:55		岸野早希 (神戸大学大学院)	従業員に対するワーク・ライフ・バランス支 援の研究 – 上司に関する要因に着目して –	佐藤博樹 (中央大学)
11:05 ～11:45		加藤恭子 (芝浦工業大学大学院)	男性正規雇用労働者の WLB 問題への意識調 査 – Role identity フレームワークによる role (役割) の代替性の分析 –	池田心豪 (独)労働政策 研究・研修機構)
11:50 ～12:30		岩田一哲 (信州大学) 杉浦裕晃 (愛知大学)	女性役職者のストレスの決定因に関する実証 的検討	池田心豪 (独)労働政策 研究・研修機構)

E 会場（外濠校舎 4 F S 401）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	脇坂 明 (学習院大学)	松岡幸代 (法政大学大学院)	三世代同居女性の管理職昇進意欲を阻害する 家庭要因 – 義母・実母との関係性から –	富田安信 (同志社大学)
10:15 ～10:55		矢島洋子 (三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株))	女性の活躍を促す育休復職後の支援と職場マ ネジメント	脇坂 明 (学習院大学)
11:05 ～11:45		金 明中 (ニッセイ基礎研究所)	女性の活躍と企業業績に関する先行研究の検 討や実証分析	富田安信 (同志社大学)

F 会場（外濠校舎 4 F S 402）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	福谷正信 (立命館アジア 太平洋大学)	柳川高行 (白鷗大学)	新規学卒者の階級分化による社会変動 – 企業勢力による正規・非正規労働者への階級分化と家庭内不労児という三つの階級の誕生 –	福谷正信 (立命館アジア 太平洋大学)
10:15 ～10:55		田中ひろみ (資)フレキシブル エンタプライズ 大八木智一 (電気通信大学)	社会人学生の修学支援における産学連携コーディネーターの役割とあり方に関する考察 – 電気通信大学社会人コースでの実践の分析を基に –	西山昭彦 (一橋大学)
11:05 ～11:45		大八木智一 (電気通信大学) 田中ひろみ (資)フレキシブル エンタプライズ)	理工系大学における夜間主学生のインターンシップの実践と今後の課題に関する考察 – 電気通信大学先端工学基礎課程における事例から –	福谷正信 (立命館アジア 太平洋大学)
11:50 ～12:30		舘野泰一 (立教大学) 森永雄太 (武蔵大学)	産学連携による大学生のビジネス・リーダーシップ開発の実践と評価	西山昭彦 (一橋大学)

G 会場（外濠校舎 4 F S 403）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	高橋 潔 (神戸大学)	大曾暢烈 (兵庫県立大学大学院)	戦略的人的資源管理論における適合アプローチと心理的側面	岩出 博 (日本大学)
10:15 ～10:55		香坂千佳子 (広島大学大学院)	組織における承認が組織コミットメントと離転職意思に及ぼす影響 – ホテル従業員の事例 –	岩出 博 (日本大学)
11:05 ～11:45		仙波亮一 (広島大学大学院)	自我脅威が組織機能阻害行動へ及ぼす影響 – 組織での包摂が労働者の行動に与える影響に着目して –	高橋 潔 (神戸大学)
11:50 ～12:30		石橋慶一 (福岡工業大学短期大学部)	業務手法定着化を目的とした動機づけプロセスを用いた状態遷移モデルの導入に関する検討	高橋 潔 (神戸大学)

H 会場（外濠校舎 4 F S 404）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	蔡 芒錫 (専修大学)	高崎美佐 (東京大学大学院)	入社前イメージと入社後の現実の差が生じる要因に関する検討 – 新規大卒者の就職活動に着目して –	蔡 芒錫 (専修大学)
10:15 ～10:55		竹内倫和 (学習院大学) 竹内規彦 (早稲田大学)	企業の導入研修と新規学卒者の組織社会化に関する実証的検討	蔡 芒錫 (専修大学)
11:05 ～11:45		大嶋淳俊 (立教大学)	次世代経営人材育成モデルの再検討 – 大企業の事例研究を中心に –	久本憲夫 (京都大学)
11:50 ～12:30		宮下 清 (大分大学)	地域創成の経営戦略と人材育成 – 一村一品運動から地域ビジネスへ –	久本憲夫 (京都大学)

I 会場（外濠校舎 5F S 501）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	石田光男 (同志社大学)	永山祥子 (アストラゼネカ(株))	インセンティブ・システムの効果について ーマネジメント・コントロールの施策としての インセンティブ・システムの効果検証ー	笹島芳雄 (明治学院大学)
10:15 ～10:55		萩 布彦 (富山県庁)	従業員の性向と人事施策等の組み合わせが従業員の満足度と与える影響について ー幸福度研究の知見を用いた実証研究ー	笹島芳雄 (明治学院大学)
11:05 ～11:45		田村 豊 (愛知東邦大学)	リーン生産導入は何を変化させているのか？ ーエンジニアに見る日本の人材育成の特質ー	石田光男 (同志社大学)
11:50 ～12:30		新井 智 (九州共立大学)	製品開発職場におけるコミュニケーション効果 ーエンジン開発職場の事例報告ー	石田光男 (同志社大学)

★ 会員控室は、外濠校舎 S 601、S 602、S 603 です。

★ 大会本部は、外濠校舎 S 503、S 504 です。

12:40 閉会式（外濠校舎 S 305）
閉会挨拶 閉会挨拶 佐藤 厚（大会実行委員長 法政大学）

参加要領

1. 申込方法

・下記 WEB アドレスの申込みページより、7月31日（金）までに出欠のご予定をお知らせください。

パソコン・スマートフォンの場合 <https://www.event-u.jp/fm/10553>

携帯電話の場合 <https://www.event-u.jp/fm/m10553>

・大会に参加される方は、同封の振込用紙にて、7月31日（金）までに参加費等をお振込みください。

2. 参加費等

		事前振込	当日支払
一般会員	大会参加費	5000 円	6000 円
	懇親会費	6000 円	7000 円
大学院生会員	大会参加費	3000 円	4000 円
	懇親会費	3000 円	4000 円
非会員	大会参加費	--	6000 円
	懇親会費		7000 円

3. 振込口座

口 座 名：日本労務学会第 45 回全国大会実行委員会

口座番号：00100-6-765538

（送付いたします振替払込用紙には参加費等の金額は印刷されていませんので、参加費、懇親会費等をご確認の上、お振込み下さい）。

4. 宿泊・食事等

- ・今回は、宿泊・弁当の手配はいたしません。
- ・会場は都内中心部にあり、東京・新宿等からも 30 分以内の距離にありますので、各自で宿泊を手配ください。
- ・会場周辺には多くの飲食店がありますので、食事は各自でおとりください。

5. 大会会場のご案内

- ・大会会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス（〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1）
- ・交通アクセス：【JR 線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分
東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分
東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10 分
- ・アクセスマップ（<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>）



- ・大会は外濠校舎の各教室、懇親会は富士見坂校舎地下一階の食堂「Cafeteria」で実施します（いずれも富士見校地内）。

第 45 回全国大会実行委員会

実行委員長：佐藤 厚

実行委員：武石恵美子 梅崎 修 佐野嘉秀 八幡成美

連絡先：〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学「日本労務学会第 45 回全国大会実行委員会」

E-MAIL: roumugakkai2015@gmail.com

第 93 回 理事会 議事録

日時：2014 年 11 月 30 日（日）12:00～15:00

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 9 号館 6 階
第二小会議室

出席者：（敬称略、50 音順）

【会長】 白木三秀

【副会長】 石田光男（欠席：清家篤）

【常任理事】 石毛昭範、熊迫真一、佐藤博樹、澤野
雅彦、廣石忠司、横山和子、三輪卓巳（欠席：安
熙卓、奥林康司、高橋潔、武石恵美子、中村圭
介、平野光俊、福谷正信）

【理事】 赤岡功、石川淳、岩出博、内田恭彦、香川
孝三、関千里、原口恭彦、藤本昌代、脇坂明（欠
席：佐藤厚、島田陽一、開本浩矢、晴山俊雄、福
間隆康、藤田誠、松山一紀）

【オブザーバー】 永野仁プログラム委員長

【審議事項】

1. 次期全国大会について

研究報告論集の、CD-ROM や USB メモリ、HP
からのダウンロード（パスワード付き）等の提供方
法の採用の可否について審議された。紙媒体しか読
めない会員へ配慮することを前提として、大会校へ
一任することが決定された。

オブザーバーとして参加された永野プログラム委
員長より、2015 年日本労務学会全国大会のプログ
ラム委員会、大会開催日程等、以下のように報告さ
れた。

【プログラム委員会】（今後増員の可能性あり）

委員長 永野 仁（明治大学）
佐藤 厚（法政大学）
武石恵美子（法政大学）
石川 淳（立教大学）

【大会開催日程】

自由論題報告：8 月 29 日（土）午前、30 日（日）
午前
統一論題：8 月 29 日（土）午後（講演、シンポ
ジウム等）

【統一論題のテーマ】

「次世代を担う若者の採用・定着・育成」（仮）

横山常任理事より、次期会報に掲載する関係上、
シンポジウムと統一論題のテーマ、プログラム委員

長挨拶等を 12 月 12 日（金）までに決定するように
要請された。また、自由論題申込みに関する以下の
留意点を次期の会報に掲載することが決定された。

①複数名で論文を発表する場合は、全員が発表時
に学会員であること

②報告者は全国大会が開催される 8 月 29 日
（土）、30 日（日）の両日に発表できるよう日
程調整を行っておくこと

③投稿論文の提出締切りを厳守すること。

2. 会員異動について

熊迫常任理事より、2014 年 10 月 31 日現在、個
人会員 857 名と法人会員 3 社であると報告され、ま
た、今回の理事会において、2014 年 10 月に新規個
人会員 2 名が正式に承認された。

3. 機関誌編集委員・研究奨励賞審査委員について

常任理事会での決定に基づき、廣石常任理事より
改選後の機関誌編集委員会構成が紹介され、また白
木会長より改選後の研究奨励賞審査委員会の構成が
紹介された。

4. メーリングリストについて

常任理事会での議論に基づき、熊迫常任理事よ
り、メーリングリストの設定ならびに運用方法案が
提案され、承認された。

5. 各種委員会報告について

国際交流委員会の白木委員長より、2014 年 9 月 2
～4 日に明治大学で開催された第 12 回 IFSAM 東京
大会への参加について報告された。

広報委員会の横山委員長より、会報ならびに会員
名簿が今年中に発送されることが報告された。ま
た、横山常任理事は、第 3 期経営学会協議会へ村田
会員とともに出席したことが報告された。

組織委員会の石川委員長より、日本産業学会で講
演し、他の学会との交流を深めたとの報告があっ
た。

編集委員会の廣石委員長より、機関紙 15 巻第 2
号の発送が 2 月になることと、16 巻第 1 号の論文
応募状況が報告された。

関西部会の三輪常任理事より、3 月に組織学会と
の共同シンポジウムを開催予定であるとの報告があ
った。

6. その他

白木会長より、会費徴収方法について問題提起があった。現在の徴収方法は、4月～12月入会者は1年分が請求され、1月～3月入会者は翌年度まで請求されていない。これに対して、様々な意見がでた

ため、事務局が次回の常任理事会で改定案を提示することになった。

石毛常任理事より、今年度から地方部会の会費が増額になっていることが報告された。

日本労務学会 第120回 常任理事会 議事録

日時：2014年10月26日（日）12:00～15:00

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス

3号館7階 705室

出席者：（敬称略、50音順）

【会長】白木三秀

【副会長】清家篤（欠席：石田光男）

【常任理事】安熙卓、石毛昭範、奥林康司、熊迫真一、澤野雅彦、武石恵美子、平野光俊、廣石忠司、三輪卓巳、横山和子（欠席：佐藤博樹、高橋潔、中村圭介、福谷正信）

審議事項に入る前に、白木会長より、前回の全国大会を担当された北海学園大学の澤野実行委員長をはじめ会員、学生の皆様大変お世話になったことへのお礼の言葉があり、また、小池和男名誉会員が文化功労者に選ばれたことが報告された。

【審議事項】

1. 会員異動について

熊迫常任理事より、9月末日現在の会員数について、個人851名、法人3名であることが報告された。また、9月受付分の新規入会申請が、一般会員3名、学生会員1名、計4名あったことが報告され、全員の入会が承認された。

会員異動に関連して、石毛常任理事より、会員の苗字、住所が変更された場合、学会事務局に連絡するようにホームページを通じ会員に知らせることが提案された。また、横山常任理事より、海外会員のメリットおよび会費支払いの注意事項を、日本語と英語のホームページで掲載することが提案された。

2. 機関誌編集委員会・研究奨励賞審査委員会について

2年任期となっている機関誌編集委員会と研究奨励賞審査委員会について、今年度の委員は以下のようになったことが報告され、承認された。

【機関誌編集委員会】

委員長：廣石忠司（専修大学）

委員：小倉一哉（早稲田大学）

島貫智行（一橋大学）

中田喜文（同志社大学）

（2015年大会まで任期）

岩出 博（日本大学）

坂爪洋美（和光大学）

鄭 有希（立命館大学）

山本 寛（青山学院大学）

（2016年大会まで任期）

【研究奨励賞審査委員会】

委員長：鈴木秀一（立教大学）

委員：大内章子（関西学院大学）

中嶋哲夫（MBO 実践支援センター）

細萱伸子（上智大学）

（2015年大会まで任期）

西村孝史（首都大学東京）

蔡イン錫（専修大学）

中川誠士（福岡大学）

原口恭彦（広島大学）

（2016年大会まで任期）

新幹事：山中伸彦（立教大学）

なお、機関誌編集委員会の廣石委員長は来春より在外研究の予定になっているが、海外においても業務遂行上問題ないとのことで、任期満了まで委員長は変更せず、必要に応じて委員長代行を置くなどで対応することが確認された。

3. 次回全国大会について

武石常任理事より、次回全国大会の日程について2015年8月28～30日となる可能性が高いことが報告され、その日程を前提として準備を進めることが承認された。会場については、市ヶ谷キャンパスを予定しているものの、会場確保の状況によっては多摩キャンパスになる可能性があることについても

報告され、承認された。

【今後の日程案】

2014年12月：自由論題研究報告の募集(会報 92 号)

2015年 2 月中旬：自由論題研究報告の申込み締切り

2015年 4 月末日：報告論集原稿締切り

2015年 5 月中旬：プログラム最終確定

プログラム委員長の選出については、武石常任理事が佐藤厚大会実行委員長と相談した上で、推薦することが決定された。

4. 各委員会報告について

国際交流委員会白木会長より、2014 年 9 月 2～4 日に明治大学で開催された IFSAM 東京大会において、日本労務学会担当のセッションが予定通り開催され、50 名程の参加者があったことが報告された。また、本セッションの開催をもって国際交流委員会委員の改選を予定していたが、次回の全国大会時に入れ替えを行うこともあわせて報告された。

機関誌編集委員会廣石委員長より、15 巻 2 号の論文掲載について、論文 2 点、資料 1 点、書評 2 点(内 1 点は原稿到着待ち)が集まっており、来年 2 月に発行予定であることが報告された。

また、投稿者より査読期間や内容等に関して問題提起があったことが報告され、それを受けて「投稿者フレンドリー」な対応へ向けて努力していくことが確認された。

広報委員会横山委員長より、機関誌に掲載される論文については、ホームページにおける論文の英語タイトルについて、広報委員会においてネイティブチェックを行うことが提案され、承認された。

また、ホームページのお役立ち情報が活用されていること、会報 91 号よりホームページに掲載されていることが報告された。

事務局石毛常任理事より、最新版の会員名簿が作成中であることが報告され、この会員名簿の取り扱いについて、その取り扱いについて注意喚起があった。

前回全国大会実行委員澤野委員長より、以下の点が報告された。1) 予算約 230 万円で、かろうじて赤字は避けられたという状況であった。2) プログラムの印刷費も相当かかっているが、論集にも同じページが入っており削減可能である。3) 会員以外のスピーカーの旅費負担が重かった為、極力会員で対応するか、そうでなければ本部負担とする等の対応が望ましい。

これを受けて、次回大会校である武石常任理事より、報告論集を CD-ROM や USB メモリ等の媒体にし、紙媒体の場合は別途有料にするなどの対応が可能なのか質問があった。この点について、次回理事会にて大会校に一任して良いか確認をとることが決定された。

関西部会三輪常任理事より、会員への連絡を容易に行うためメーリングリストを作成することが提案された。事務局にて費用等を調査した上で、次回理事会で審議することが決定された。

5. その他

横山常任理事より、経営関連学会協議会が 2014 年 11 月 23 日に開催予定であり、日本労務学会から横山常任理事が出席することが報告された。

事務局から：メーリングリスト登録のお願い

日本労務学会では、会員の情報共有のためのツールとして、メーリングリストの活用を始めました。まだ登録をされていない会員で登録を希望される方は、「氏名」「登録するメールアドレス」「所属する地方部会名」を明記の上、日本労務学会リエゾンオフィス*までメール(jshrm@ibi-japan.co.jp)でご連絡ください。

※日本労務学会リエゾンオフィスとは、日本労務学会の事務処理サポート並びに会員間の連絡等をお願いしている団体です。

【問い合わせ先】日本労務学会リエゾンオフィス

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F

株式会社国際ビジネス研究センター内

TEL : 03-5273-0473

FAX : 03-3203-5964

E-mail : jshrm@ibi-japan.co.jp

第121回 常任理事会 議事録

日時：2015年3月29日（日）14:00～17:00

会場：同志社大学 新町キャンパス 溪水館1F
会議室

出席者：（敬称略、50音順）

【会長】 白木三秀

【副会長】 石田光男（欠席：清家篤）

【常任理事】 石毛昭範、奥林康司、熊迫真一、高橋
潔、中村圭介、平野光俊、福谷正信、三輪卓己、
横山和子（欠席：安熙卓、佐藤博樹、澤野雅彦、
武石恵美子、廣石忠司）

【全国大会実行委員長】 佐藤厚

【審議事項】

1. 会員異動について

熊迫常任理事より、2015年2・3月受付分の8名（一般会員6名、学生会員2名）の入会が諮られ、承認された。また、これに伴い現時点での会員数は、個人会員868名、法人会員3社になったとの報告があった。

2. 次回全国大会について

佐藤委員長より、第45回全国大会について以下の通り報告があった。

①日程と会場について

当初の予定通り、2015年8月28日（金）～30日（日）の日程で、法政大学市ヶ谷キャンパスでの会場確保ができた。

②統一論題とシンポジウムについて

統一論題は『次世代を担う若者のHRM』とし、シンポジウムの主題は『若者の採用・定着・育成をめぐって』とする。

特別講演は、日本経済団体連合会の労働政策本部統括主幹の遠藤和夫氏に依頼している。

シンポジウム報告者は、慶應義塾大学の太田總一教授、和光大学の坂爪洋美教授、甲南大学の尾形真実哉准教授、労働政策研究・研修機構研究員の岩脇千裕氏、リクルートワークス研究所所長の久保幸夫氏の5名とし、コーディネーターは立教大学の石川淳教授が担当される。

③自由論題について

当初の申し込みは31件（うち辞退2件）であったが、追加募集での申し込みが32件あったことか

ら、最終的に61件になった。

報告者の論集原稿の締め切りは4月30日である。

会員の全国大会参加申し込み受付は、7月10日までとする予定である。

3. 普通会员の入会時期等について

石毛常任理事より、以下のような普通会员の入会時期、および会員に対する刊行物の配布開始の時期に関する事務の取扱いが提案され、2015年4月1日より実施することが承認された。

- ・会則第7条により入会の承認を受けた場合、常任理事会または理事会における承認の場合は原則として当該会の開催日、電子理事会における承認の場合は原則として当該承認が行われた日の属する月の末日をもって入会とする。
- ・会則第11条に定める会員に対する刊行物の配布については、原則として会則第10条①に定める会費の最初の納入を本部事務局において確認した後から行う。なお、会費の最初の納入があった場合、当該入会年度の入会日前に発刊された学会発行の出版物を原則として送付する。
- ・入会承認日が1月1日から3月31日の場合、入会申請者からの申し出があった場合には、入会日を当該年の4月1日とすることができる。
- ・本取扱いの変更は会長が行い、会長は変更後その旨を速やかに常任理事会または理事会で報告する。

4. 各種委員会報告について

(1) 機関誌編集委員会より

廣石常任理事（欠席）より、書面にて以下の提案と報告があった。

①投稿規程・編集規程の改定（提案）について

機関誌編集委員会の委員長を務める廣石常任理事より「投稿規程・編集規程の改定（提案）」について、現在共著論文に関しては、投稿規程では「共著者の内少なくとも1人が会員であること」（第1項）、編集規程でも「共著者の内少なくとも1人が会員であること」（第3項）となっているが、これを「共著の場合には論文受理時に第一著者が会員であること。」とすることと提案された。

常任理事会においては、現段階では学会の専属性を高める必要があるかどうかなどの意見があり、本

案は一旦保留し再提案してもらうこととなった。

②学会誌の進捗状況（報告）について

15巻2号は3月中に発送済みであり、16巻1号は3月末日に中央経済社に入稿予定である。2号とも遅延した理由について、執筆者の中で再校終了後「念校」を求めた人がいるためなどで入稿から発送まで7ヶ月ほどかかっているとの報告があった。

常任理事会においては、現行の入稿から発送までの期間はさすがに長すぎると思われるため修正期間を短くするなどの対応をとるべきではないかとの意見があった。

(2) 広報委員会より

横山常任理事より、以下のような報告等があった。

①会報・HPについて

会報93号の発行時期は6月中旬とする。また、地方部会活動状況をHPに掲載するため、各部会に対して部会活動報告を4月末までに提出するよう依頼があった。

②学会HPの学会事務局（国際ビジネス研究センター）への移管

学会HPの管理業務は、2015年4月1日付けで、個人の業者から学会事務局へ移管することになった。

③広報委員・委員長の任期について

広報委員・委員長の任期、人選方法は定められておらず、次期の選挙を機に定めるようにする必要があるとの問題提起があった。

これを受けて、本部事務局で原案を作成し、次回の理事会で提案することになった。

(3) その他

横山常任理事より、経営関連学会協議会第3期第

7回評議会（2015年3月8日 日曜日 於：明治大学）、および日本学術会議主催「学術フォーラム」（統一テーマ：経済社会の変化へ対応した経営学大学院のあり方）（2015年3月22日 日曜日 於：日本学術会議堂）に出席されたことが報告された。

5. その他

(1) 会計状況について

石毛常任理事より、2014年度「現在の収支概況」及び「来年度予算の方針」について報告があり、原案通り承認された。

(2) 刊行物・会計書類の保管について

石毛常任理事より、「刊行物の保管部数・保管期間に関する事務取扱いについて」と「会計書類の保管期間に関する事務取扱いについて」の提案があり、原案通り承認された。

保管期間を過ぎた機関誌の処分については、全国大会時に希望する会員へ譲渡されることになった。また、データ保存、将来の書籍の電子化を考え、機関誌をPDF化にする必要があるとの意見がだされ、次回の理事会で議論することになった。

(3) 地方部会の活性化について

三輪常任理事より活発な地方部会活動を行うための工夫（報告者の構成を工夫する）などが報告された。

また、他学会と積極的に連携していくことが部会の活性化につながるとの意見が出された。

(4) メーリングリストについて

熊迫常任理事より、メーリングリストの登録、使用状況、その課題について報告された。現状では、登録人数が少ないため、事務局より送信者の名義を日本語にするなどして登録の再依頼をするとの対応策を検討することになった。

広報委員会からのお知らせ

～入会申込書フォーム（和文／英文）～

入会フォーム（和文／英文）は学会ホームページ（http://jshrm.scholars.jp/join_form.html）からダウンロードすることができます。

～お役立ち情報～

日本労務学会ホームページの「リンク」内「お役立ち情報」には、学会員に役立つ情報が掲載されています。

2014 年度 地方部会活動状況

〔北海道部会〕

2014 年度、北海道部会主催の研究会活動は行われませんでした。

〔東北部会〕

日 時：平成 26 年 12 月 13 日（土）

14:30～17:00 部会報告

18:00～ 懇親会

会 場：花巻温泉 ホテル千秋閣 3F

「ききょうの間」

第 1 報告：

遠藤哲哉 氏（青森公立大学）

「大災害時の地域経営におけるリーダーシップ」

第 2 報告：

櫻田涼子 氏（福島大学）

「グローバル化時代のキャリア・プラトーン現象」

〔関東部会〕

1 回目

日 時：2014 年 7 月 5 日（土）午後 3 時～5 時

場 所：早稲田大学早稲田（本部）キャンパス

11 号館 8 階 817 教室

第 1 報告：

Irene Zamora 氏（早稲田大学大学院）

「Managing human resources in the Latin American

Context: the case of El Salvador, Mexico and Colombia.」

第 2 報告：

鈴木宏昌 氏（早稲田大学名誉教授）

「不思議なフランスの労使関係」

2 回目

日 時：2015 年 1 月 10 日（土）午後 1 時～3 時

場 所：早稲田大学早稲田（本部）キャンパス

11 号館 9 階 901 教室

第 1 報告：

周 楊華 氏（中央大学大学院）

「多国籍企業海外派遣者の帰任成功について」

第 2 報告：

大久保信一 氏（名古屋市立大学大学院）

「退職給付の雇用管理上のインセンティブ効果
－国内制度の研究の俯瞰－」

〔中部部会〕

愛知学院大学経営学会との協力により、以下のとおり講演会を開催した。

日 時：3 月 4 日（水）

場 所：愛知学院大学名城公園キャンパス

2513 教室

司 会：関千里 氏（愛知学院大学）

講演 1：

大橋靖雄 氏（愛知学院大学）

「ひとつの終わり、そして－過去・現在・将来－」

講演 2：

松原敏浩 氏（愛知学院大学）

「私論・リーダーシップ研究の発展史」

〔関西部会〕

日 時：2015 年 3 月 14 日（土）午後 1 時 00 分
より

場 所：神戸大学 六甲台キャンパス 本館 2 階
206 教室

組織学会との共同開催で開催された。

第 1 報告（13:00～14:25）：

北居 明 氏（大阪府立大学大学院）

「組織を養生する：アプレシエイティブ・イン
クワイリーの原理と手法、そして課題」

コメンテーター：三輪卓己 氏（京都産業大学）

第 2 報告（14:35～16:00）：

前山匡右 氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルテ
ィング シニアコンサルタント）

「組織に変化を創り出す－人事制度改革と組織
開発－」

コメンテーター：鈴木竜太 氏（神戸大学大学院）

※各報告とも、発表 45 分、コメント 10 分、質疑
応答 30 分。

〔九州部会〕

日 時：2014 年 12 月 13 日（土） 13:30～17:00

場 所：九州産業大学 1 号館 10 階 中会議室

第 1 報告：

脇夕希子 氏（九州産業大学）

「テレワークの自律性について」

第2 報告：

高松侑矢 氏（西南学院大学大学院博士後期課程）
「持続的結果に向けた企業の英語戦略」

第3 報告：

宮下 清 氏（大分大学）
「グローバル人材の職務と育成の研究」

学会員の書籍出版のお知らせ

（2013 年 1 月以降の出版物が対象、単著、共著（表紙に氏名があるもの））

種別	会員名 (所属)	出版名	出版社 出版年月日	概要
単著	平康慶浩 (セレクションアンド パリエーション (株))	出世する人は人事 評価を気にしない	日本経済新聞 出版社 2014 年 10 月	使う側と使われる側の壁を理解することで、組織におけるキャリアの本質は見えてくる。130 以上の組織で人事制度の整備に携わったコンサルタントが、人事評価の本当の意味と昇進のしくみを紹介、会社員のキャリアの築き方を指南する。
単著	大嶋淳俊 (立教大学経営学部)	e ビジネス&マー ケティングの教科 書	学文社 2014 年 10 月	情報化のトレンドや政策・産業の動き、クラウドや SNS 利用など e ビジネスの新潮流からネットマーケティングまで、独自のフレームワークで事例を交えて最新動向を解説。『情報活用学入門』（学文社、2012）の姉妹編。
共編著	松田陽一 (岡山大学大学院 社会文化科学研究科)	組織変革マネジメ ントへの招待～抵 抗の除去とチーム 医療の活用	岡山大学出版会 2014 年 3 月	組織変革（＝人の意識・行動変革）について、理論的・実践的知見を提供しています。具体的に抵抗の除去とチーム医療の活用に焦点をあてて、諸調査や観察・事例分析に基づいた岡山大 MBA 生（4 名）の研究成果です。
共編著	梅崎 修 (法政大学キャリア デザイン学部) 田澤 実 (法政大学キャリア デザイン学部)	大学生の学びとキ ャリアー入学前か ら卒業後までの継 続調査の分析	法政大学出版会 2013 年 4 月	筆者らが独自に開発した「キャリア意識の発達に関する効果測定テスト」（CAVT）による統計調査にもとづいて大学生のキャリア発達を実証的に俯瞰し、大学のキャリア教育の役割と実践はいかにあるべきかについて検証する。
共編著	中嶋哲夫 (MBO 実践 支援センター) 梅崎 修 (法政大学キャリア デザイン学部) 井川静恵 (帝塚山大学経済学部) 柿澤寿信 (同志社大学商学部) 松繁寿和 (大阪大学大学院 国際公共政策研究科)	人事の統計分析－ 人事マイクロデー タを用いた人材マ ネジメントの検証	ミネルヴァ書房 2013 年 5 月	日本国内はもとより海外においても使用されなかったレベルの人事マイクロデータを用いた研究である。これらのデータを使って人事処遇制度改革や新人事施策が効果を生み出すまでの過程を科学的に分析し、それらが滞る原因を検討する。

種別	会員名 (所属)	出版名	出版社 出版年月日	概要
共編著	平尾智隆 (愛媛大学教育・ 学生支援機構) 梅崎 修 (法政大学キャリア デザイン学部) 松繁寿和 (大阪大学大学院 国際公共政策研究科)	教育効果の実証－ キャリア形成にお ける有効性	日本評論社 2013 年 6 月	教育の選別が始まっている。院卒は企業 で評価されるのか？シュウカツの結果を 決める要因は？大学の教育方法改革は有 効か？教育は人生をどう豊かにするの か？マイクロデータに基づく分析によっ て教育の評価・検証を行い、その必要性 を問う。
単著	村上由紀子 (早稲田大学 政治経済学術院)	人材の国際移動と イノベーション	NTT 出版 2015 年 3 月	知識創造をモデル化しながら、高度人材 の国際移動（日本で働く外国人、多国籍 企業の派遣者、自発的に移動する研究 者、大学生・院生）が、イノベーション に与える効果と、関連する日本の課題や 政策について考察した
編著	須田敏子 (青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科)	日本型戦略の変 化：経営戦略と人 事戦略の補完性か ら探る	東洋経済新報社 2015 年 3 月	日本経済・企業に定着した「日本型」戦 略は環境変化によってどのように変化し ているのか。電機・製薬・金融・流通の 4 産業について、“産業状況”と“戦略 変化（経営戦略・人事戦略）”の進行し つつある変化を分析する。
単著	上林千恵子 (法政大学社会学部)	外国人労働者受け 入れと日本社会： 技能実習制度の展 開とジレンマ	東京大学出版会 2015 年 3 月	少子高齢化で労働力不足に苦しむなか外 国労働者への期待の声は大きい。これ まで明確な移民政策が存在しなかった日 本で望ましい外国人労働者受け入れとは どのようなものか。

(2014 年 12 月 1 日～2015 年 5 月 12 日までの受付分)

住所変更の際はご一報を！

会員の皆様におかれましてご住所・連絡先・所属機関などの変更がございましたら、本部事務局
あるいは下記連絡先へすみやかにご連絡ください。

送付物を確実にお届けするため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【連絡先】 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F
株式会社国際ビジネス研究センター内
日本労務学会リエゾンオフィス
TEL : 03-5273-0473 FAX : 03-3203-5964
E-mail : jshrm@ibi-japan.co.jp

会 員 異 動

(敬称略、所属は入会申込書記載に準拠)

電子理事会承認分 (2014 年 11 月 30 日)

氏 名	所 属
田中ひろみ	合資会社フレキシブルエンタプライズ
大八木智一	電機通信大学

館野 泰一	立教大学
林 邦彦	(株)イーウェル
石橋 智昭	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
梁 秋霞	ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー (The Dow Chemical Company)
佐伯 康考	関西学院大学大学院 経済学研究科
高橋 知之	法政大学 経営学研究科

電子理事会承認分 (2014 年 1 月 31 日)

寺村絵里子	明海大学
竹村 陽子	同志社大学大学院 総合政策学科 研究科

【退会会員】(お申し出順)

腰塚 弘久	草野 順子	甘利 憲一
荒井 一博	松林 国義	堀内 勝男
佐保田満美	中野 裕治	江頭 説子
広瀬 俊雄	猿田 正機	村上 伸一
上原 施門		

電子理事会承認分 (2015 年 2 月 28 日)

西川 昌邦	日本マイクロソフト(株)
伊藤 武彦	名古屋商科大学
川九健一郎	(株)ビジネス・サクセスストーリー
李 林暉	大阪大学大学院 国際公共政策研究科
夏 世明	同志社大学大学院 総合政策科学研究科
柳 圭子	鹿児島労働局
松岡 幸代	ふくい女性活躍支援センター

【除籍会員】

長期不明者 (2014 年度末現在で 4 年以上の不明者) 1 名
年会費長期未納者 (2014 年度末現在で 4 年以上の滞納者) 7 名

理事会承認分 (2015 年 3 月 29 日)

船越 伴子	(株)ヒューマンラボ
林 雅子	アサヒプロマネジメント(株)

会員総数 (2015 年 3 月末現在) 855 名
(うち海外会員 12 名) 法人会員 3 社

機関誌編集委員会からのお知らせ

次号 (第 16 巻第 1 号) は 3 月末日に入稿しました。第 45 回全国大会までにはお手元にお届けできると思います。次号では 5 本の論文を掲載することができました。

今後も積極的な投稿をお待ちしております。

(機関紙編集委員長 廣石記)

会報 VOL.93 につきまして、お名前に誤りがございました。

4 ページ G 会場のコメンテーター

誤) 江夏幾太郎 → 正) 江夏幾多郎

5 ページ 統一論題シンポジウムのパネリスト

14 ページ 常任理事会議事録 審議事項文中

誤) 太田総一 → 正) 太田聰一

謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

訂正は表記のまま、敬称は略させていただいております。

(2015 年 7 月 2 日)